



九月五、六日に三浦市のマホロバマインズ三浦において、毎年恒例の「第一七回組織拡大・労働条件経験交流集會」を各地区本部・支部などから八四名の参加で開催した。従来は一日開催だったが、今回はより議論・交流を深め一層組織強化・拡大に力を入れていくことという事で初めて一泊での開催となった。

職場の中心となり 組織拡大へ

第17回組織拡大・労働条件改善経験交流集會

一三時の受付開始から開会までの時間を利用して、分割・民営化前後に製作された「闘いの足跡」を上映。その後一三時四五分に開会。石上委員長のあいさつでは「民主党が勝利。不採用問題の政治解決を図る。安全安定輸送を守る為、労働組合の使命を果たす。組織拡大を大胆に取り組む」といったあいさつがあった。次に東日本武田組織部長から東日本における組織強化・拡大の現状報告があり、続いて最近国労加入のあった東戸塚駅分会・中野電車区分会・西国分寺駅連分会から取り組みや加入の経緯の報告があり「東労組の人に不満が多い。国労のほうが要求運動がある。国労が職場の中心にいた。加入後妨害もなかった」などの話がされた。

次に宮崎組織部長から基調提起があり、その後八つに分かれて二時間の分會に入った。終了後は全体交流を兼ねた夕食。その後交流は深夜まで延々と続いた。二日目は前日の分會会の中身を受けたパネルディスカッションが行われた。前日の分會会で座長をした八名がパネラーとなり、前日の分會会で出された様々な報告のうち、更に深く聞いてみたい、全体に広めたいといった部分をパネラーや参加者に報告してもらった。

青年部・青対分會から「国労はきちんとやってくれる」「青年部から見ても『今の若い人はわからない』という声」「国

「私の周りには、いつも国労の仲間たちがいた。早く国労に帰って来いと、ずっと言われていた。これからは、この仲間たちと一緒にやっていきたい」九月一日付けで、未加入から国労復帰・加入した木戸さん(五八歳)は、同月十日に大井工場支部が主催した「歓迎会」で熱い思いを語った。木戸さんは、自らの気持ちから五年前に国労から離れた。しかしその後、分會は以前と変わらずに木戸さんと接してきた。その思いが、木戸さんの心をとらえていた。

歓迎会は、佐藤支部書記長の開会挨拶で進められ、大平支部委員長は、「仲間を大

少ない。ベテランの人に頼みづらい気持ちがある事がわかった。メセ長含めて話し合いをして全体で仕事をプールする形に変え、若い人の負担を減らした」

A 駅からは「B 駅で若手のリーダー格だったC 君が異動してきた。仕事が多く押し付けられ、上と下の板ばさみになってうつ病になってしまった。A 駅は国労が多いが、小集団含めて彼一人にしないで私たちが入って行くことにした」といった様々な報告がされた。

最後に松川書記長のまとめでは「会社と一括和解をした事で全体がやる気になっていく。国労に加入してくれた若い人が希望を持って活動できるように努力しなければ」などの話がされた。最後に松尾青年部長の組織拡大に向けた力強い団結ガンバローで二日間の集會が終了した。



組合員の購読料は組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1715 定価 15円

2009年
10月5日

国労加入を 大胆に訴えよう



医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える
アフラックのがん保険

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。
Aflac
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

〈募集代理店〉
アベニール 株式会社
電話 **03-3437-6810** ファックス **03-3437-6822**
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
〈取りまとめ先〉
(財) 国鉄労働会館東京地方部
JR電話 **054-2548** ファックス **03-3806-9275**
電話 **03-3806-9264**
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1

資料請求いただいたお客様の個人情報利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日



国労東京野球大会二日目は九月三日に大井スポーツセンターにおいて、一回戦・二回戦を勝ち上がった四チーム(八王子A・八王子B・新橋A・神奈川A)による準決勝・決勝・三位決定戦が行われた。準決勝の新橋A(東京駅)対八王子B(豊田車七)の試合は新橋Aが八王子Bを、最終回の大野選手(豊田車七)のホームランの一点に抑えて決勝進出。もう一試合の神奈川A(中原電車区)対八王子A(八王子地区協)の試合は五回まで二(神A)対三(八A)の均衡した試合だったが、最終回の六回表に神奈川Aが四点を入れ勝負あったかに見えた。しかしその裏、八王子は連打に足をからめ一点差とし、水越選手(立川車掌区)のタイムリーで逆転サヨナラ勝ちし決勝に進出した。

現在東京自動車分会の組織人員は一三名。東京支店全体では約一三〇名です。ジェイアール東日本からの出向が約三〇名、バス関東社員は約一〇〇名です。組織の拡大も元地本青年部長の坂本和彦君が加入以来、約一五年新規加入がありません。坂本君が加入時は、後に続く状況があったのに、坂本君の不当配転により、芽を摘まれてしまっているに似ています。この間にもバス社員に対し、粘り強く接し、対話を続け組織拡大に向けた活動の強化を進めています。

業務の内容は主に路線バスの運転業務。勤務の問題点は東労組が定期的に団交を行っており、国労に対しては何も提案、説明も無く、東労組掲示板で、変更点を知り、説明を求め、話しをする事になるが、会社の対応は「第一組合が了解しています」「もう決まっていますので実施します」等、会社と国労の和解が成立したのにもかかわらず、国労敵視の施策に変化が見受けられないのが現状です。

こうした中、二年前に約三〇〇km離れた、静岡県浜名湖近くの三ヶ日営業所を立ち上げ、二年間の転勤を強制的に実施。東京支店から八名の転勤者で、国労は分会長、書記長の二名が選ばれ組織の弱体化を狙った発令を実施。苦情処理をかけても、明確な理由も聞けないまま転勤。今年の七・八月には二回目の二年間の転勤を実施。今回も国労組合員も二名を入れ替えた形にし、東労組も「意味のない転勤で、助勤体制で十分。」と言った声も聞かずに強行された。

会社の体制は国労無視だけではなく、東労組無視に走り、思うままに業務内容の変更、改悪も進めつつあります。こうした一方的な労使関係を打破すべく、些細な事も直接交渉、問題点を解決し、働きやすい職場環境を作り上げ、主導権を取り戻す事が出来るように、東京自動車分会組合員一丸となり行動を起こします。

当初、自己紹介も「二〇秒」という時間制限を設けましたが、ふだんはなかなか会えない仲間同士という事から、積もる話も多々あり、職場における問題点、出向先の現状や若い仲間との関わり話など、和気あいあいとした時間を過ごしてきました。

また、今回は、昨年末から今年にかけて国労加入した二人の仲間も参加しており「昨年末までは他労組としての参加でしたが、今年からは胸を張って参加できます。これから頑張っていきたいと思います」という力強い決意も話され、「明日から職場に戻って頑張ろう」という決意を固め合う交流会になりました。

最後に、記念撮影という事で、全員で川をバックに、思い思いのポーズをとりながら交流会を終了してきました。参加された仲間の皆さん大変ご苦労さまでした。来年はもっともっと多くの仲間が結集するようがんばろう!

決勝戦と三位決定戦は少し休憩をはさみ、決勝戦は八王子A対新橋A、三位決定戦は神奈川A対八王子Bの組み合わせで行われた。決勝では八王子Aは三回まで一対二と新橋Aに先行されたが、四回からリリーフした緑川投手(八王子運輸区)が新橋Aに一点も許さず、その間に三点をもぎ取った八王子Aが逆転勝ちで優勝を飾った。八王子の優勝は実に二二年ぶりでの喜びもひとしおだった。

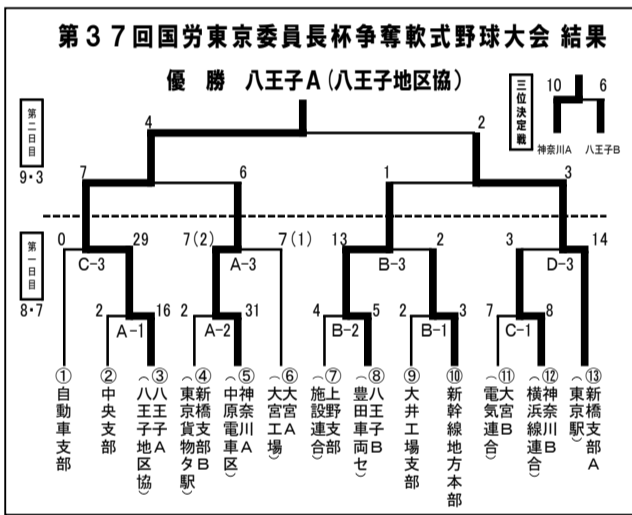
最後に閉会式で各チームと個人賞の表彰式が行われ、石上大会委員長のあいさつ、坂本審判長の講評が行われ第三七回国労東京委員長杯争奪軟式野球大会の幕が閉じた。

国労東京野球大会

優勝は八王子Aチーム

22年ぶり

連載企画 分会紹介 16 東京自動車営業所分会



国労東京 法律相談

10/14
11/11
12/9

要予約
相談費用...
初回は地本負担

東貨協が「パーベキュー」交流会

九月十九日、東京貨物協議会主催による「パーベキュー交流会」を開催し、二〇名を越える仲間が結集しました。

昨年は、雨の中での開催となり、今年も当初は、台風の影響により、開催すら危ぶまれましたが、貨物組合員の開催へ向けた熱い思いが、台風をも遠ざける結果?となり、時々、晴れ間もさすほどの天候に恵まれた一日になりました。

そして、夜勤明けによる疲労の中でも遠方から現地に向かってきている仲間たちを待って、開始予定時刻は大幅に遅らせて全員集合してからの開会しました。

事務局メンバーは、朝八時半から準備を始め、東京貨物協議会・榎戸副議長による

交流会進行により、主催者挨拶として長島議長から「本日の交流会を契機にまた東京貨物協議会も奮闘していこう」との決意や、来賓挨拶では東日本本部・平田特別執行委員より「東日本本部としても支社交渉を含め労働条件改善に向け取り組みを強めていく」などの挨拶を受け、その後は、自己紹介へと場をうつしていききました。



〔東京自動車分会のみさん〕